

問い合わせ先  
第四管区海上保安本部海洋情報部  
海洋調査課長 中川 正則  
電話052-661-1611(内線2530)

平成26年 7月 24日  
第四管区海上保安本部



## 離岸流発生に注意！

～ 愛知県赤羽根海岸の離岸流調査結果速報～

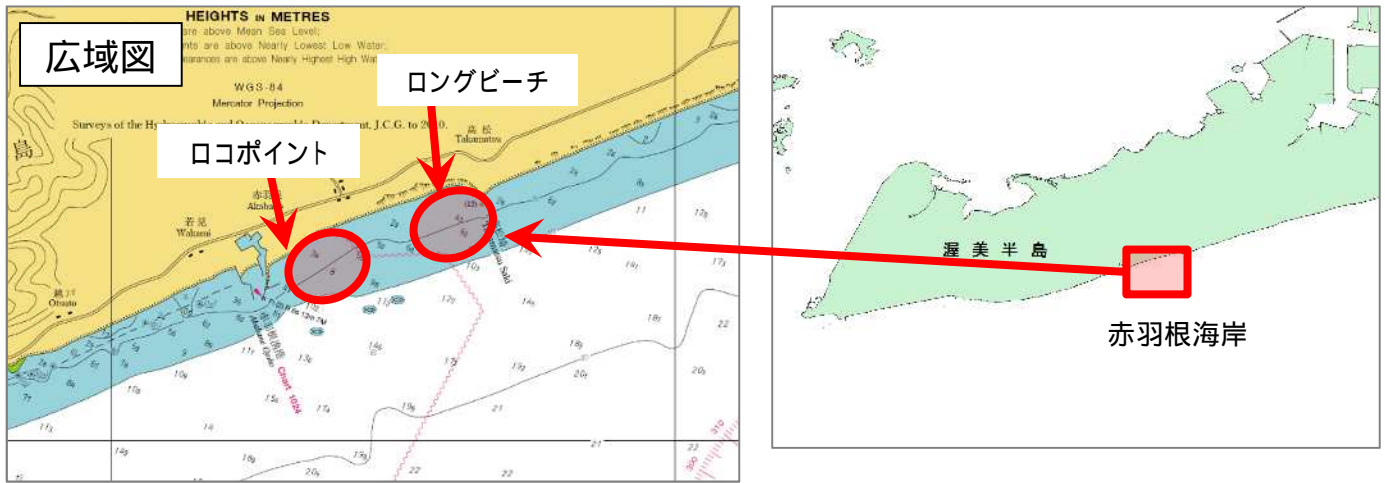
第四管区海上保安本部では、離岸流（海岸付近で突然発生する岸から沖へ向かう流れ）による事故を未然に防ぐため、赤羽根海岸でシーマーカーなどにより離岸流調査を行いました。砂浜付近における3日間の調査の結果、**海が穏やかでも離岸流が発生することを確認しました。**

第四管区海上保安本部ではマリナー活動を行う際の危険な流れについて注意喚起することを目的として、管内の離岸流に起因する海難が発生した赤羽根海岸において離岸流調査をしました。

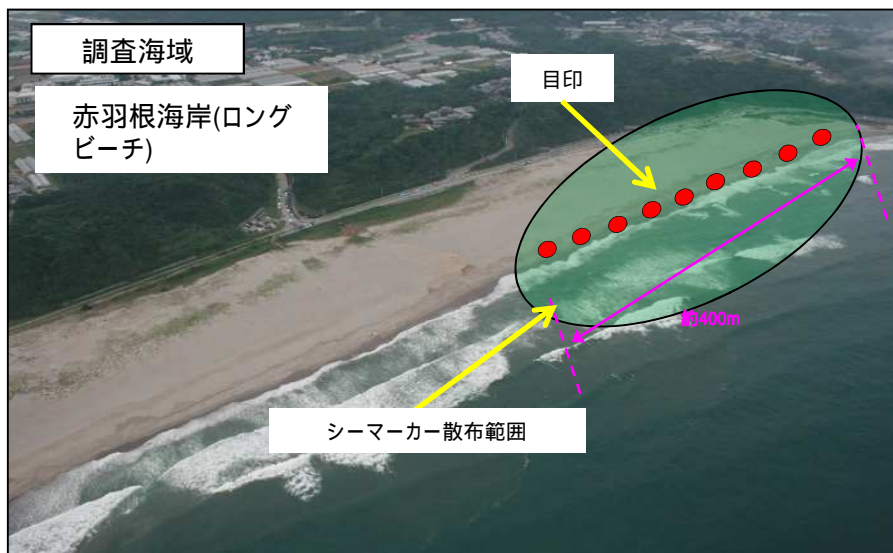
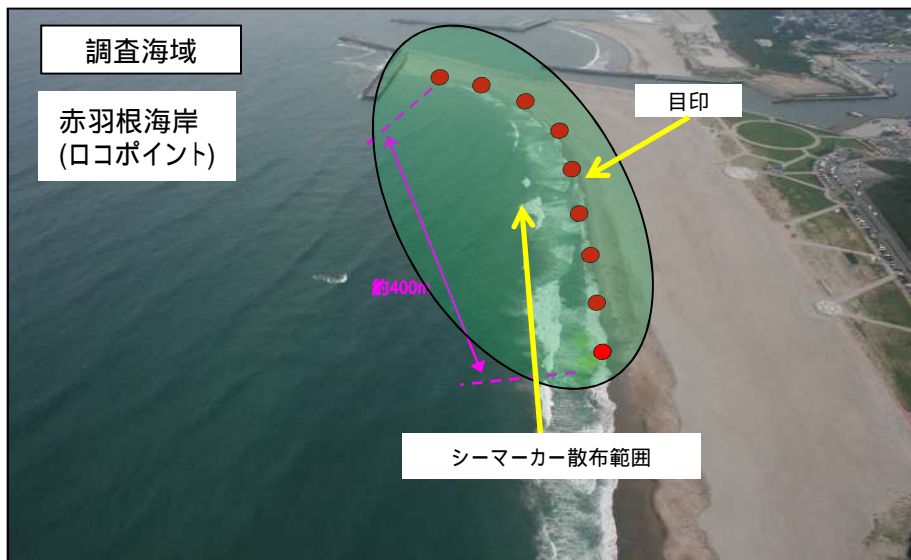
今回、シーマーカーにより実際の流れの向きと速さの調査、潜水士による漂流体験調査を実施しました。



# 調査海域及び調査方法

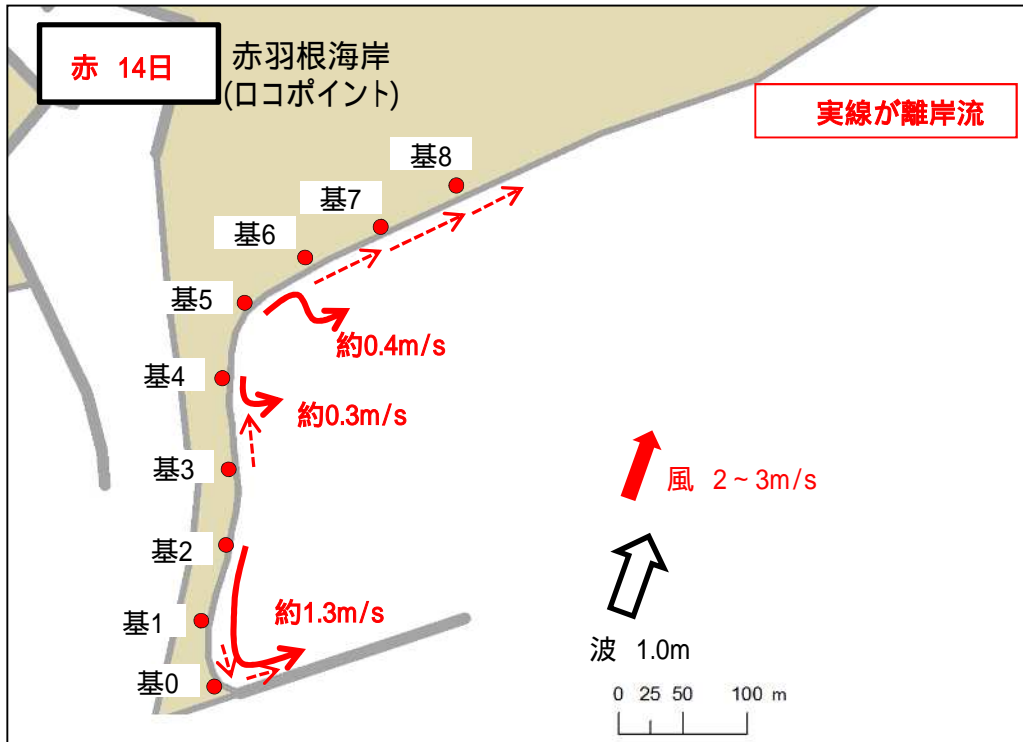


事前に、シーマーカーを散布する際の目印(基0~基8)を、それぞれ約50m間隔で約400mにわたり設置し、砂浜付近でシーマーカーを散布して離岸流の発生状況を調査しました。



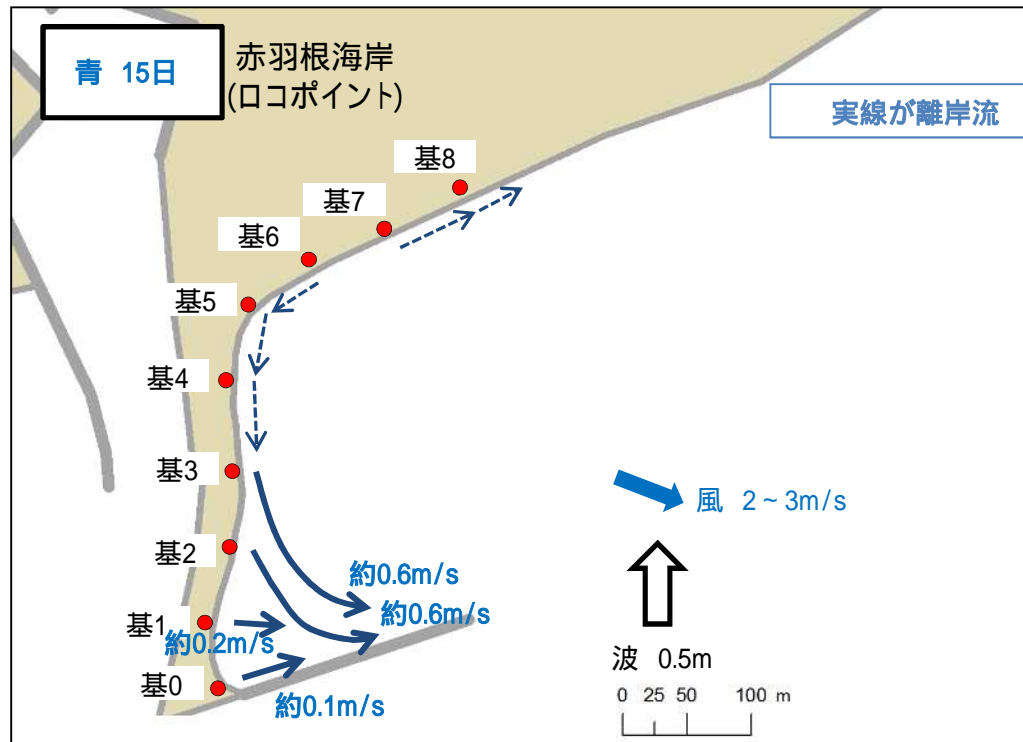
# 7月14日～15日の離岸流調査結果(ロコポイント)

資料2



**14日**  
 風: 南南西 2~3m/s  
 離岸流: 防波堤沿いに最大約1.3m/s、約20m沖まで流れた

流れを示す矢符はシーマーカーの移動経路を表しています。



**15日**  
 風: 西北西 2~3m/s  
 離岸流: 防波堤沿いで最大約0.6m/s、約100m沖まで流れた

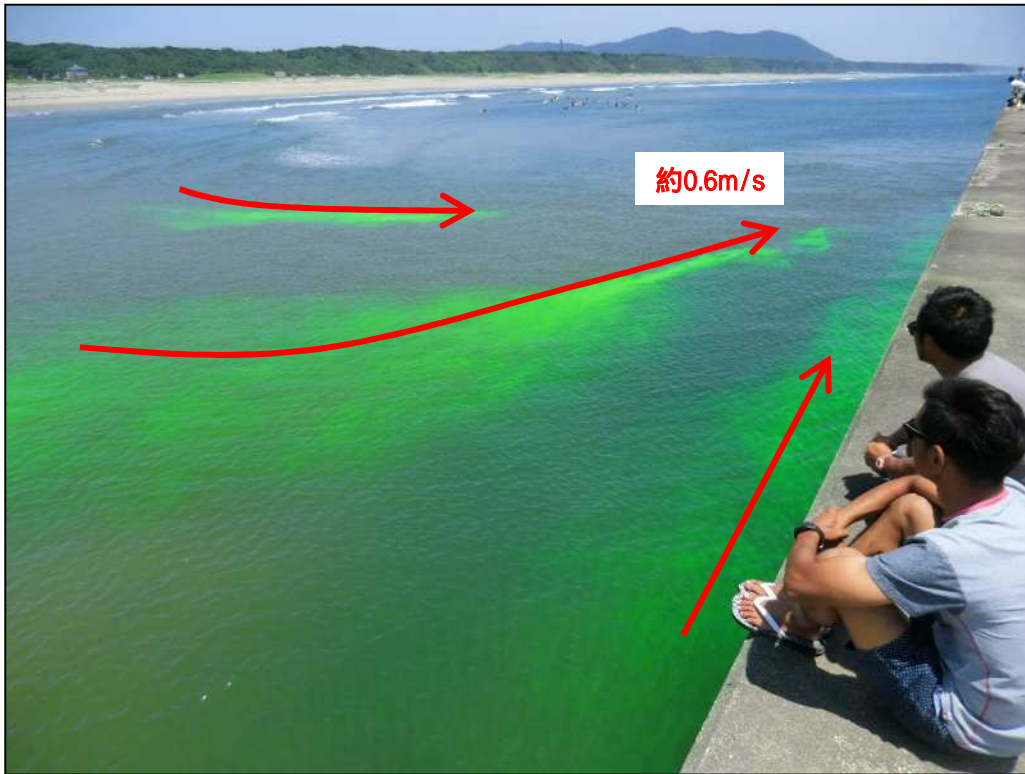
流れを示す矢符はシーマーカーの移動経路を表しています。

海は穏やかでしたが、規模が異なる離岸流が毎日発生しました。

# 観測された離岸流の様子

資料3

7月15日 ロコポイント 防波堤付近

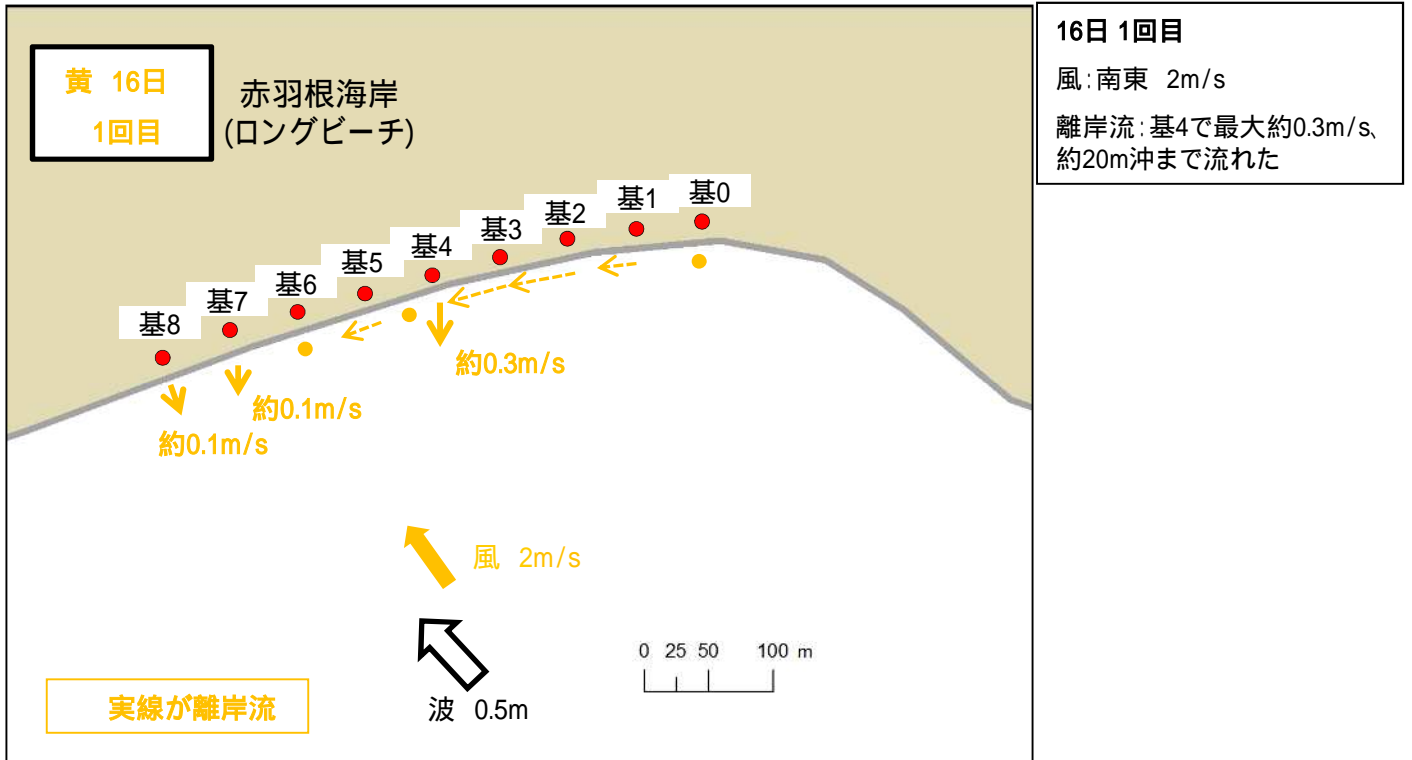


7月15日 ロコポイント 防波堤から100m付近

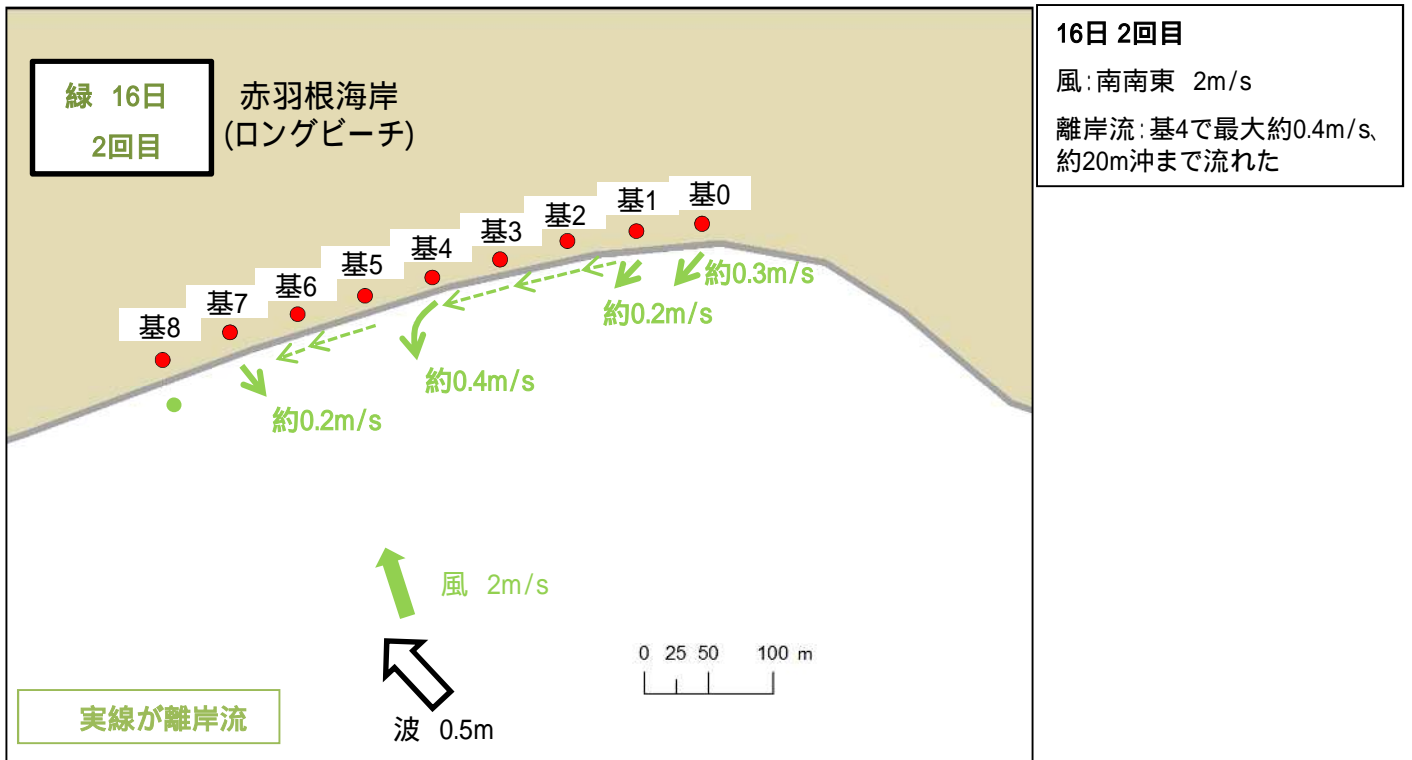


# 7月16日の離岸流調査結果(ロングビーチ)

資料4



流れを示す矢符はシーマーカーの移動経路を表しています。



流れを示す矢符はシーマーカーの移動経路を表しています。

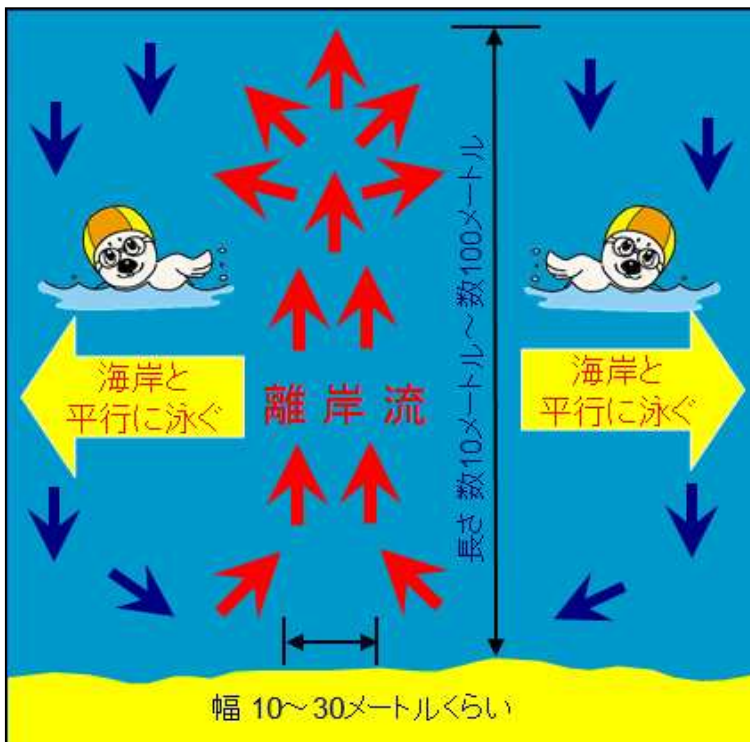
## 離岸流に注意

今回の調査で確認したように、海が穏やかであっても離岸流は発生します。

また潜水土による漂流体験調査により、離岸流で沖に流されても、流されていることに気がつきにくいことも確認しています。

そのため、海水浴においては、離岸流によって足の立たない沖に流されてしまう危険に対し、常に注意が必要です。

もしも離岸流に巻き込まれた場合の脱出方法、離岸流に巻き込まれないための注意事項を下記にまとめていますので、ご活用ください。



### 離岸流の発生規模

1. 幅は10m ~ 30mくらい
2. 沖への長さは数10m ~ 数100m

### 離岸流からの脱出方法

1. あわてず、落ち着くこと
2. 岸に向かわず、海岸と並行に泳いで抜け出す
3. 抜け出たら、海岸に向かって泳ぐ

### その他の注意

1. 天候が悪い日には泳がない
2. 防砂堤、防波堤のそばで泳がない
3. 離岸堤の端のそばで泳がない
4. 沖に流されていないか周囲を見て注意する
5. 一人では絶対に泳がない(大人同伴)
6. 保護者は子供から目を離さない